

2000 年度事業報告書

自 2000 年 4 月 1 日

至 2001 年 3 月 31 日

財団法人 日本太鼓連盟

I . 概 要

2000 年度は、昨年度に引き続き組織基盤の確立を図るとともに、関係団体の協力を得ながら、支部の開設、会員の実情把握と増大に務めた。また、2002 年 4 月から文部省の「中学校学習指導要領改訂」により、中学校の音楽時間に実技を必修とした和楽器教育が始まることを考慮し、指導者育成の見地から、資格認定制度に基づく有資格者の増員と充実を図った。

事業については、主務官庁である文化庁の指導のもと、日本財団をはじめモーターボート関係団体並びに(財)日本音楽財団の支援を得て、海外の拠点づくりを推進するため、日米太鼓会議を開催したほか、日本太鼓の演奏会、コンクール、国際交流、講習会並びに技能認定等の活動を積極的に行った。

2000 年度末現在の加盟支部数、加盟団体数、会員総数及び有資格者数は、次のとおりである。

加盟支部数	34 支部（都道府県）	前年度 30 支部
加盟団体数	802 団体（正会員 772、特別会員 30） 賛助会員 7 団体	前年度 722 団体 前年度 7 団体
会員総数	21,583 名	前年度 19,755 名
有資格者数	公認指導員 229 名 技術認定員 1,571 名	前年度 192 名 前年度 1,019 名

事業内容は、次のとおりである。

1. 主催事業

- (1) 日本太鼓助成金交付事業の実施
- (2) 日本太鼓全国フェスティバルの実施
- (3) 日本太鼓コンサートの実施
- (4) 日本太鼓ジュニアコンクールの実施
- (5) 日本太鼓全国障害者大会の実施
- (6) 国際交流事業の実施
- (7) 日本太鼓全国講習会の実施
- (8) 日本太鼓資格認定事業の実施

2. 一般事業

- (1) 広報事業の実施
- (2) 協力事業の実施
- (3) 後援事業の実施
- (4) 調査研究事業の実施

Ⅱ． 総 務 関 係

1． 理事の異動

- ・ 2000 年 6 月 8 日 (木) の第 5 回評議員会において、任期満了に伴い第 3 期の理事が選任された。第 2 期の理事より 2 名 (吉野和男理事、デイビット・ライト理事) が退任し、1 名 (ステファン・ジョン・ゴマソール理事) を選任し 1 名を欠員とした。また、同日行われた第 6 回理事会において、次期会長の適任者が見つかるまでの間、会長職務代行として塩見和子副会長を選任した。
- ・ 2000 年 9 月 13 日 (水) の第 6 回評議員会において、理事 1 名 (津田正理事) を選任した。また、同日行われた第 7 回理事会において、会長として津田正氏を選任した。
- ・ なお、評議員の任期は、本年 11 月 27 日までである。
(理事は巻末別表 1、評議員は巻末別表 2 のとおり)

2． 理事会の開催

・ 第 6 回理事会

日 時 2000 年 6 月 8 日 (木) 13:30～14:30

場 所 アークヒルズクラブ (東京都港区)

出 席 理事 19 名 (委任状出席 8 名を含む) 監事 2 名

議決事項

第 1 号議案 1999 年度事業報告及び決算について

第 2 号議案 2000 年度事業計画及び収支予算の一部変更について

第 3 号議案 任期満了に伴う会長・副会長・常務理事の選任について

第 4 号議案 支部の開設について

・ 第 7 回理事会

日 時 2000 年 9 月 13 日 (水) 11:00～12:00

場 所 アークヒルズクラブ (東京都港区)

出 席 理事 19 名 (委任状出席 10 名を含む) 監事 2 名

議決事項

第 1 号議案 会長の選任について

第 2 号議案 支部の開設について

第 3 号議案 2000 年度新規事業の実施について

第 4 号議案 規程の制定について

第 5 号議案 2001 年度事業計画及び収支予算について

第 6 号議案 日本財団に対する 2001 年度助成金の交付申請について

3. 評議員会の開催

- ・第5回評議員会

日 時 2000年6月8日(木) 11:00～12:00

場 所 アークヒルズクラブ(東京都港区)

出 席 評議員 15名(委任状出席7名を含む)

議決事項

第1号議案 1999年度事業報告及び決算について

第2号議案 2000年度事業計画及び収支予算の一部変更について

第3号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任について

- ・第6回評議員会

日 時 2000年9月13日(水) 11:00～12:00

場 所 アークヒルズクラブ(東京都港区)

出 席 評議員 15名(委任状出席5名を含む)

議決事項

第1号議案 理事の選任について

第2号議案 2000年度新規事業の実施について

第3号議案 2001年度事業計画及び収支予算について

4. 各種会議の開催

- ・第3回代議員会(会員代表32名と当財団役員で構成)

日 時 2000年6月30日(水) 13:00～17:00

場 所 船の科学館羊蹄丸会議室(東京都品川区)

出 席 代議員 37名(委任状・代理出席を含む)

支部事務局長 11名

議決事項

第1号議案 役員・運営委員・技術委員の改選について

第2号議案 1999年度事業報告について

第3号議案 2000年度事業計画について

第4号議案 新規開設支部について

第5号議案 2000年度支部及び会員の現状について

第6号議案 会費納入状況について

・第10回運営委員会

日 時 2000年5月31日（木）13：00～17：00

場 所 日本財団ビル4階会議室（東京都港区）

出 席 12名（委任状出席2名を含む）

議決事項

第1号議案 1999年度事業について

第2号議案 2000年度事業について

第3号議案 支部の開設について

第4号議案 支部講習会について

第5号議案 公認指導員資格認定免除基準の改正について

第6号議案 公認指導員の認定について

・第11回運営委員会

日 時 2000年9月6日（水）13：00～17：00

場 所 日本財団ビル10階会議室（東京都港区）

出 席 12名（委任状出席2名を含む）

議決事項

第1号議案 2000年度事業実施報告について

第2号議案 第5回技術委員会の報告について

第3号議案 2000年度新規事業について

第4号議案 2001年度事業計画(案)について

第5号議案 支部開設について

・第12回運営委員会

日 時 2001年1月18日（木）13：00～17：00

場 所 日本財団ビル4階会議室（東京都港区）

出 席 12名（委任状出席4名を含む）

議決事項

第1号議案 2000年度事業の実施と今後の予定について

第2号議案 第3回日本太鼓ジュニアコンクールについて

第3号議案 2001年度日本太鼓助成金交付について

第4号議案 公認指導員の認定について

第5号議案 特別会員の入会について

第6号議案 日本太鼓全国フェスティバルの開催実施要綱について

・第6回技術委員会

日 時 2000年7月12日(水) 13:00～17:00

場 所 日本財団ビル 10階会議室(東京都港区)

出 席 9名(委任状出席1名を含む)

議決事項

第1号議案 日本太鼓全国フェスティバルについて

第2号議案 日本太鼓ジュニアコンクールについて

第3号議案 日本太鼓全国障害者大会について

第4号議案 日本太鼓資格認定制度について

第5号議案 日本太鼓全国講習会について

第6号議案 日本太鼓支部講習会について

・第7回技術委員会

日 時 2000年9月17日(日) 13:00～18日(月) 15:00

場 所 RAKO華乃井ホテル(長野県諏訪市)

出 席 10名(委任状出席4名を含む)

議決事項

第1号議案 日本太鼓教本の改訂について

・第8回技術委員会

日 時 2000年12月7日(木) 13:00～17:00

場 所 日本財団ビル 4階会議室(東京都港区)

出 席 10名(委任状出席1名を含む)

議決事項

第1号議案 日本太鼓資格認定事業について

第2号議案 日本太鼓教本の改訂について

第3号議案 日本太鼓ジュニアコンクールについて

・第9回技術委員会

日 時 2001年3月25日(日) 19:00～22:00

場 所 浜の湯会議室(長野県諏訪市)

出 席 10名(委任状出席3名を含む)

議決事項

第1号議案 日本太鼓ジュニアコンクールについて

第2号議案 日本太鼓資格認定事業について

5. 登記事項

- ・ 2000 年 7 月 3 日 資産の変更登記届出（東京法務局）
- ・ 2000 年 7 月 3 日 役員登記届出（東京法務局）
- ・ 2000 年 10 月 3 日 役員登記届出（東京法務局）

6. 主務官庁への届出等

- ・ 2000 年 6 月 28 日 1999 年度事業報告及び決算報告書届並びに 2000 年度事業計画及び収支予算の一部変更届を提出(文部大臣)
- ・ 2000 年 8 月 2 日 登記事項変更登記完了届(文部大臣)
法人代表者の変更届(文部大臣)
- ・ 2000 年 8 月 30 日 役員(理事・監事)異動届(文部大臣)
- ・ 2000 年 10 月 4 日 役員(理事)異動届(文部大臣)
法人代表者の変更届(文部大臣)
- ・ 2001 年 3 月 13 日 2001 年度事業計画及び収支予算届(文部科学大臣)

7. 規程の制定

日本太鼓による国際文化交流を促進し、日本太鼓を正しく世界に紹介する事業の円滑な運営を図るため、次のとおり規程の制定を行った。

- ・ 規程の種類 太鼓ファンド規程
- ・ 規程の制定日 2000 年 9 月 13 日

8. 支部の開設

東京都太鼓連合(代表者・松本源之助氏)並びに愛知県太鼓連盟(代表者・西川恵美子氏)より申請のあった支部の設置を、第 6 回理事会において諮り承認された。また、兵庫県太鼓連盟(代表者・児玉利夫氏)並びに奈良県太鼓連盟(代表者・立石 猛氏)より申請のあった支部の設置を、第 7 回理事会において諮り承認された。

この結果、34 支部となった。

9. 事務局

事務局を東京都港区虎ノ門 1 丁目 15 番 16 号日本財団ビル 6 階に置き、年度末役職員数は、常勤役員 1 名、職員 2 名、嘱託 1 名、臨時傭人 1 名の計 5 名である。

Ⅲ. 事業関係

1. 主催事業

(1) 日本太鼓助成金交付事業の実施

わが国における太鼓活動の普及、振興を図るため太鼓団体の行う講習会、演奏会、国際交流等の事業に対して規程に基づき助成金を交付した。なお、入場者総数は、19,133名(観客数16,465名、出演者数2,668名)であった。

名 称 2000年度日本太鼓助成金交付事業(日本財団助成事業)

事業数 12事業

交付金 1事業200,000円(総額2,400,000円)

交付事業内容

- ① みやざきジュニア太鼓フェスティバル 申請団体:(財)日本太鼓連盟宮崎県支部
- 開催期日 2000年4月29日(土・祝)
- 開催場所 宮崎市こどものくに(宮崎県宮崎市)
- 開催内容 主催:宮崎県太鼓連合((財)日本太鼓連盟宮崎県支部)
後援:(財)日本太鼓連盟、MRT宮崎放送商事(株)、こどものくに
- 事業費総額 769,440円(助成金額 200,000円)
- 入場者 4,917名(観客数4,800名、出演者等9団体117名)
- ② 栃木県太鼓連盟発足記念大会 申請団体:(財)日本太鼓連盟栃木県支部
- 開催期日 2000年5月21日(日)
- 開催場所 栃木県教育会館(栃木県宇都宮市)
- 開催内容 主催:(財)日本太鼓連盟栃木県支部
後援:(財)日本太鼓連盟、栃木県、宇都宮市ほか
- 事業費総額 2,946,100円(助成金額 200,000円)
- 入場者 1,253名(観客数1,100名、出演者等18団体153名)
- ③ 第10回長野県太鼓の祭典 申請団体:(財)日本太鼓連盟長野県支部
- 開催期日 2000年7月30日(日)
- 開催場所 国宝松本城内特設会場(長野県松本市)
- 開催内容 主催:長野県太鼓連盟((財)日本太鼓連盟長野県支部)
後援:(財)日本太鼓連盟、松本市、松本市教育委員会ほか
- 事業費総額 500,000円(助成金額 200,000円)
- 入場者 3,200名(観客数3,000名、出演者等200名)

- ④ 2000年環日本海太鼓フェスティバル 申請団体：環日本海和太鼓フェスティバル実行委員会
開催期日 2000年8月5日(日)
開催場所 大浜海岸特設会場(山形県酒田市)
開催内容 主催：環日本海和太鼓フェスティバル実行委員会
後援：(財)日本太鼓連盟、酒田市、酒田市教育委員会ほか
事業費総額 6,035,627円(助成金額 200,000円)
入場者 1,356名(観客数1,200名、出演者等14団体156名)
- ⑤ 第9回東北太鼓フェスティバル 申請団体：東北太鼓フェスティバル実行委員会
開催期日 2000年9月10日(日)
開催場所 天間林村屋内スポーツセンター(青森県天間林村)
開催内容 主催：東北太鼓フェスティバル実行委員会
後援：(財)日本太鼓連盟、青森県、青森県教育委員会ほか
事業費総額 7,133,009円(助成金額 200,000円)
入場者 1,800名(観客数1,500名、出演者等17団体300名)
- ⑥ 第3回日本太鼓ジュニアコンクール長崎県予選大会・第1回長崎県支部コンサート
申請団体：(財)日本太鼓連盟長崎県支部
開催期日 2000年10月14日(土)
開催場所 諫早まつり特設ステージ(長崎県諫早市)
開催内容 主催：(財)日本太鼓連盟長崎県支部
後援：(財)日本太鼓連盟、諫早市、全九州太鼓連合ほか
事業費総額 351,765円(助成金額 200,000円)
入場者 632名(観客数500名、出演者等10団体132名)
- ⑦ 第3回日本太鼓ジュニアコンクール熊本県予選会
申請団体：(財)日本太鼓連盟熊本県支部
開催期日 2000年10月15日(日)
開催場所 熊本城竹之丸特設舞台(熊本県熊本市)
開催内容 主催：(財)日本太鼓連盟熊本県支部
後援：(財)日本太鼓連盟、熊本市、全九州太鼓連合ほか
事業費総額 376,395円(助成金額 200,000円)
入場者 1,004名(観客数800名、出演者等14団体204名)
- ⑧ 第3回日本太鼓ジュニアコンクール鹿児島県予選会
申請団体：(財)日本太鼓連盟鹿児島県支部
開催期日 2000年10月29日(日)
開催場所 みやまコンセル(鹿児島県牧園町)
開催内容 主催：(財)日本太鼓連盟鹿児島県支部
後援：(財)日本太鼓連盟、(財)鹿児島県文化振興財団
事業費総額 384,328円(助成金額 200,000円)
入場者 640名(観客数415名、出演者等17団体225名)

⑨ 第16回国民文化祭フレ事業群馬県和太鼓フェスティバル

申請団体:国民文化祭藤岡市実行委員会

開催期日 2000年10月29日(日)
 開催場所 みかぼみらい館大ホール(群馬県藤岡市)
 開催内容 主催:国民文化祭藤岡市実行委員会
 後援:(財)日本太鼓連盟、国民文化祭群馬県実行委員会
 事業費総額 4,765,000円(助成金額 200,000円)
 入場者 1,770名(観客数1,200名、出演者等19団体570名)

⑩ 第10回島根県太鼓フェスティバル

申請団体:(財)日本太鼓連盟島根県支部

開催期日 2000年10月29日(日)
 開催場所 三刀屋町文化体育館「アスパル」(島根県三刀屋町)
 開催内容 主催:(財)日本太鼓連盟島根県支部
 後援:(財)日本太鼓連盟、島根県、三刀屋町ほか
 事業費総額 5,950,698円(助成金額 200,000円)
 入場者 1,300名(観客数1,000名、出演者等16団体300名)

⑪ 第4回大分県太鼓コンサート・第3回ジュニアコンクール大分県大会

申請団体:(財)日本太鼓連盟大分県支部

開催期日 2000年11月5日(日)
 開催場所 佐伯市文化会館(大分県佐伯市)
 開催内容 主催:(財)日本太鼓連盟大分県支部
 後援:(財)日本太鼓連盟、大分県、大分県教育委員会、佐伯市、
 佐伯市教育委員会、全九州太鼓連合ほか
 事業費総額 1,279,445円(助成金額 200,000円)
 入場者 1,060名(観客数780名、出演者等22団体280名)

⑫ 第3回日本太鼓支部講習会(神奈川)

申請団体:(財)日本太鼓連盟神奈川支部

開催期日 2000年12月9日(土)・10日(日)
 開催場所 平塚市市民センター(神奈川県平塚市)
 開催内容 主催:(財)日本太鼓連盟神奈川支部
 共催:(財)平塚市文化財団
 後援:(財)日本太鼓連盟、神奈川県、神奈川県教育委員会ほか
 事業費総額 2,350,861円(助成金額 200,000円)
 参加者 201名(講師・スタッフ等31名、受講者170名)

(2) 日本太鼓全国フェスティバルの実施

第4回日本太鼓全国フェスティバルは、日本太鼓の普及・振興を図り併せて技術の向上並びに太鼓団体の交流を目的として開催した。今回は、CIOFF(国際民俗芸能祭)の世界大会に協力して7月30日(日)に東京の渋谷公会堂で海外3チームと全国から23チームが出場、1,500名の観客の前でそれぞれ個性ある演奏を披露した。

名 称 第4回日本太鼓全国フェスティバル(日本財団助成事業)
期 日 2000年7月30日(日) 開場 11:30 開演 12:00 終演 17:00
会 場 渋谷公会堂(東京都渋谷区)
主 催 財団法人日本太鼓連盟
共 催 CIOFF JAPAN ワールド・フォークロリアー・日本組織委員会、NHK、東京都、渋谷区、国立オリンピック記念青少年総合センター、公園通商店街振興組合、(財)児童育成協会・こどもの城、Bunkamura、東京商工会議所、
後 援 文化庁、ユネスコ、ユネスコ国内委員会、外務省、自治省、IOC、JOC、国際観光振興会、(財)伝統的工芸品産業振興協会、(社)日本観光協会
特別協賛 日本財団
入場料 2,000円(一律)
出 演 26団体 395名(1団体演奏7分)
海外チーム(フランス、スリランカ、韓国)
太鼓チーム(20都道府県・23団体)
なまはげ太鼓伝承会(秋田)、愛宕陣太鼓連響風組(福島)、創作男体雷太鼓(栃木)、尾瀬太鼓愛好会(群馬)、川口初午南龍太鼓・高野右吉と秩父社中(埼玉)、のさか太鼓・銚子はね太鼓保存会(千葉)、真如太鼓・助六太鼓(東京)、鼓粋(神奈川)、分水太鼓(新潟)、石川県九谷太鼓保存会(石川)、信州上田真田陣太鼓(長野)、雨鳴太鼓保存会(山梨)、和太鼓集団藤枝太鼓(静岡)、美濃小倉太鼓(岐阜)、大和の響き「京」(京都)、石見あらがね太鼓保存会(島根)、おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)、ゆふいん源流太鼓(大分)、串間くるみ太鼓(宮崎)、巨人伝説太鼓衆弥五郎太鼓(鹿児島)
入場者 約1,500名

(3) 日本太鼓コンサートの実施

このコンサートは、日本YMCA国際賛助会(FISC)が、心身に障害のある子どもたちのために毎年行っているサマーキャンプを支援するため、募金キャンペーンの一環として実施した。当日は、我が国のオピニオンリーダー及び在日外国高官の方々を招き、日本太鼓を日本の代表的伝統音楽の一つとして位置付け、その認識を新たにし、かつ国際的に広く紹介する良い機会になった。また、太鼓公演に併せて会場にYMCAの活動内容に関するパネルと出演者である富岳会のメンバーによる絵画の作品を展示し活動状況を紹介した。

名 称 第4回日本太鼓チャリティ・コンサート(日本財団助成事業)
期 日 2000年5月12日(金)

会 場 草月ホール（東京都港区）
 主 催 財団法人日本太鼓連盟
 共 催 日本YMCA国際賛助会（FISC）
 後 援 財団法人日本音楽財団
 特別協賛 日本財団
 出 演 6 団体 73 名
 太鼓集団天邪鬼（東京）、富岳太鼓障害者チーム（静岡）、上州桂会（群馬）、
 天城連峰太鼓（静岡・第2回ジュニアコンクール優勝チーム）、小倉祇園太鼓（福岡）、
 手取亢龍太鼓（石川）
 入場者 350 名（全席招待：在日各国大使館、政財界、音楽界などの関係者を招待）
 チャリティ募金 472,600 円（日本YMCA国際賛助会にて集計）

（４）日本太鼓ジュニアコンクールの実施

第3回総務大臣杯日本太鼓ジュニアコンクールは、太鼓界の次代を担うジュニアの健全育成と後継者づくりを目的に3月25日（日）長野県の岡谷市文化会館カノラホールで1,300名の観客を集めて開催した。29都道府県から選ばれた高校生以下の33チームが出場し、太鼓の技量に加え、礼節など5項目を審査の対象として行われた。今回からは、当財団の技術委員も加わり、さらに厳正な審査の結果、大分県代表のゆふいん源流少年隊が優勝した。

名 称 第3回総務大臣杯日本太鼓ジュニアコンクール（日本財団助成事業）
 期 日 2001年3月25日（日）
 会 場 岡谷市文化会館カノラホール（長野県岡谷市）
 主 催 財団法人日本太鼓連盟
 主 管 財団法人日本太鼓連盟長野県支部
 後 援 総務省、文化庁、長野県、長野県教育委員会、岡谷市、
 岡谷市教育委員会、諏訪市、（財）日本音楽財団、岡谷商工会議所、
 岡谷市観光協会、諏訪市観光協会、信濃毎日新聞社、信越放送、
 テレビ信州、長野朝日放送、NHK長野放送局、長野日報社、
 L.C.V、岡谷市民新聞社
 特別協賛 日本財団
 審査委員 塩見和子（審査委員長・財団副会長）
 （五十音順） 池田庄作（財団副会長）、ジヨージ・川口（ジャスト・ドラマー）、
 中西智子（三重大学教授）、西角井正大（実践女子大学教授）、
 古屋邦夫（財団技術委員長）
 出 演 33 団体 325 名（全国 29 都道府県代表）
 寿子ども蝦夷太鼓同好会（北海道）、米山丸山太鼓（宮城）、能恵姫竜神太鼓（秋田）、和太鼓「紅」（山形）、和紙の里和雅美太鼓（福島）、みのり太鼓（茨城）、岩舟武蔵太鼓（栃木）、尾瀬太鼓愛好会（群馬）、高野右吉と秩父社中（埼玉）、上総の国房州太鼓（千葉）、

荏原流れ太鼓ひびき會(東京)、相州平塚七夕太鼓保存会(神奈川)、十日町大太鼓雪花会(新潟)、越中いさみ太鼓保存会(富山)、手取亢龍若鮎組(石川)、雨鳴太鼓保存会(山梨)、鬼島太鼓、松川響道場、信濃之國松川響岳太鼓子供会、信州安曇野穂高太鼓子供会、三好町やまびこ太鼓(以上・長野)、美濃もとす太鼓保存会ジェアチーム(岐阜)、富岳わんぱく太鼓(静岡)、大和の響き京(京都)、越部鼓(兵庫)、三刀屋太鼓 Jr. (島根)、広島山陽高等学校(広島)、小城太鼓小天狗(佐賀)、おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)、人吉ねぶか太鼓(熊本)、ゆふいん源流少年隊(大分)、串間くるみ太鼓(宮崎)、枕崎火の神乙女太鼓(鹿児島)

特別出演 天城連峰太鼓(第2回大会優勝チーム・静岡)、甲州ろうあ太鼓(山梨)

御諏訪太鼓保存会・上諏訪駅前本町二丁目龍神会(長野)

*予選 16 支部(参加団体総数 181 団体・2,223 名・観客総数 10,300 名)

入場者 1,300 名

審査結果	優勝	ゆふいん源流少年隊(大分)
	第2位	手取亢龍若鮎組(石川)
	第3位	鬼島太鼓(長野)
	第4位	和紙の里和雅美太鼓(福島)
	第5位	上総の国房州太鼓(千葉)

特別賞(計 10 団体)

長野県教育委員会賞	人吉ねぶか太鼓(熊本)
岡谷市長賞	みのり太鼓(茨城)
諏訪市長賞	小城太鼓小天狗(佐賀)
岡谷市教育長賞	信州安曇野穂高太鼓子供会(長野)
岡谷商工会議所会頭賞	越中いさみ太鼓保存会(富山)
岡谷市観光協会会長賞	高野右吉と秩父社中(埼玉)
諏訪市観光協会会長賞	三刀屋太鼓 Jr. (島根)
L C V (エルシーブイ) 賞	広島山陽高等学校(広島)
長野県太鼓連盟名誉会長賞	おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)
諏訪響太鼓店社長賞	相州平塚七夕太鼓保存会(神奈川)

(5) 日本太鼓全国障害者大会の実施

第2回日本太鼓全国障害者大会は、日本太鼓を音楽療育の一環として行っている知的・身体障害者チームが演奏並びに日本太鼓とその療育等について体験発表を行い、場内を埋めた観客に大きな感動を与えた。

名 称	第2回日本太鼓全国障害者大会(日本財団助成事業)
期 日	2000 年 6 月 17 日(土)
会 場	御殿場市民会館大ホール(静岡県御殿場市)
主 催	財団法人日本太鼓連盟
主 管	社会福祉法人富岳会、財団法人日本太鼓連盟静岡県支部
後 援	厚生省、文化庁、静岡県、御殿場市、(財)静岡県文化財団、 (財)日本知的障害者愛護協会、日本障害者芸術協会、中日新聞社、 静岡新聞社・S B S 静岡放送、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ
協 力	御殿場市民会館

内 容 14 団体 237 名 (10 都県・1 団体演奏 7 分、体験発表 5 分)
 甲州ろうあ太鼓 (山梨)、助六太鼓ろう者太鼓鼓心会 (東京)、諏訪聾太鼓 (長野)、
 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」 (大阪)、龍姫太鼓 (兵庫) 以上、聴覚障害チーム
 伊豆医療福祉センター (静岡) 以上、身体障害チーム
 恵那のまつり太鼓保存会、ファミリーユニット童鼓 (以上・岐阜)、希望太鼓 (鳥取)、
 仁寿太鼓 (島根)、勤労障害者文化交流派遣団端宝太鼓 (長崎)、わらしな太鼓、
 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム、富岳太鼓 (以上・静岡) 以上、知的障害チーム
 同時開催 「障害者芸術展」 (会場：小ホール)
 入場者 約 1,000 名

(6) 国際交流事業の実施

日本太鼓は、世界から日本独自の民族芸術として評価されており、日本太鼓の海外演奏は日本文化の海外紹介として大きな評価を受けている。今年度も、多くの要請を受け、効果的な事業に限定して実施した。

サンフランシスコの国際太鼓フェスティバルは、アメリカ各地やカナダ等から多くのチームが集まるため太鼓公演に併せて会議も設定されており、今後の海外における拠点づくりの手始めとして実施した。

スペイン・バルセロナでは、同市において行われるメルセー祭に、日本を代表する伝統芸能として日本太鼓の出演要請があり実施した。

このほか、国際交流基金の要請を受けて中欧、中央アジア並びに中東、アフリカ等 8 カ国で太鼓公演を行ない各地で大好評を博した。これら 10 カ国における太鼓公演の観客総数は 29,274 名であった。

なお、派遣する太鼓チームについては、現地の要望を受けて日程・人数等を考慮して選出した。

また、ワシントンにて実施予定であった国際交流事業 (障害者太鼓公演) は諸般の都合により中止となった。

①名 称	日米太鼓会議・太鼓公演 (日本財団助成事業)
期 間	2000 年 11 月 9 日 (木)～15 日 (水)
訪問国	米国 (サンフランシスコ)
主 催	財団法人日本太鼓連盟
派遣者	塩見和子 (副会長)、小口大八 (副会長)、青木昌代 (事務局) ゆふいん源流太鼓 (大分) 長谷川義以下 5 名
公演日程	11 月 11 日 (土) 国際太鼓フェスティバル (カリフォルニア大学バークレー校 Zellerbach Hall) 観客 2,100 名 11 月 12 日 (日) 日米太鼓会議 (カリフォルニア大学バークレー校) 出席 29 名 国際太鼓フェスティバル (カリフォルニア大学バークレー校 Zellerbach Hall) 観客 2,100 名

- ②名 称 スペイン日本太鼓公演（日本財団助成事業）
 期 間 2000 年 9 月 21 日（金）～29 日（金）
 訪問国 スペイン（バルセロナ市・ヴェンドレル市）
 主 催 財団法人日本太鼓連盟
 派遣者 塩見和子（副会長）、浅野義幸（理事）、秋田 稔、長谷川鉄（事務局）
 御陣乗太鼓保存会（石川）池田庄作以下 6 名
 ゆふいん源流太鼓（大分）長谷川義以下 5 名
- 公演日程
- | | | | |
|-------------|---------------------------|----|---------|
| 9 月 23 日（土） | ヴェントレル公演（パカサス博物館音楽ホール） | 観客 | 500 名 |
| 9 月 24 日（日） | バルセロナ公演（メルカト・ダ・ラス・フロレス） | 出席 | 1,000 名 |
| 9 月 25 日（月） | メルセ-祭公演（ランブラ・デ・ラハル特設ステージ） | 観客 | 4,000 名 |
| 9 月 26 日（火） | 太鼓公演&ワークショップ（バルセロナ日本人学校） | 参加 | 150 名 |
- ③名 称 日本太鼓中欧・中央アジア公演（国際交流基金主催事業）
 期 間 2000 年 10 月 4 日～27 日
 訪問国 ハンガリー、スロバキア、チェッコ、ウズベキスタン、カザフスタン
 主 催 国際交流基金
 協 力 財団法人日本太鼓連盟
 派遣者 塩見和子（副会長）、大澤和彦（事務局）
 富岳太鼓（静岡）山内強嗣代表以下 5 名
- 公演日程
- | | | | |
|--------------|--------------------------------|----|----------|
| 10 月 06 日（金） | 太鼓公演（ハンガリー・ブダペスト文化ホール） | 観客 | 700 名 |
| 10 月 09 日（月） | 太鼓公演（ハンガリー・ブダペスト文化ホール） | 観客 | 700 名 |
| 10 月 11 日（水） | 太鼓公演（スロバキア・アレナ劇場） | 観客 | 300 名 |
| 10 月 12 日（木） | 太鼓公演（スロバキア・アレナ劇場） | 観客 | 300 名 |
| 10 月 15 日（日） | 太鼓公演（チェッコ・プラハ城 Ball Game Hall） | 観客 | 400 名 |
| 10 月 18 日（水） | 太鼓公演（ウズベキスタン・タシュケント・ナホイ劇場） | 観客 | 850 名 |
| 10 月 19 日（木） | 太鼓公演（ウズベキスタン・タシュケント・ナホイ劇場前広場） | 観客 | 10,000 名 |
| 10 月 23 日（月） | 太鼓公演（カザフスタン・アルマトイ・コンサートホール） | 観客 | 700 名 |
| 10 月 24 日（火） | 太鼓公演（カザフスタン・アルマトイ・コンサートホール） | 観客 | 800 名 |
- ④名 称 日本太鼓中東・アフリカ公演
 期 間 2001 年 2 月 1 日（木）～2 月 25 日（日）
 訪問国 スーダン、アラブ首長国連邦（アブダビ・ドバイ）、バハレーン
 主 催 国際交流基金
 協 力 財団法人日本太鼓連盟
 派遣者 塩見和子（副会長）、小野 巽（常務理事）
 橘太鼓響座（宮崎）岩切邦光代表以下 5 名
- 公演日程
- | | | | |
|-------------|----------------------------|----|-------|
| 2 月 04 日（日） | 太鼓公演（スーダン・ハルツーム見本市会場） | 観客 | 800 名 |
| 2 月 08 日（木） | 太鼓公演（スーダン・ハルツームフレンドシップホール） | 観客 | 900 名 |
| 2 月 12 日（月） | 太鼓公演（アブダビ・アブダビ文化財団） | 観客 | 750 名 |
| 2 月 13 日（火） | 太鼓公演（アブダビ日本人学校） | 観客 | 110 名 |

2月14日(水)	太鼓公演(アズタビ公立小学校)	観客	600名
2月17日(土)	太鼓公演(トバイ民衆芸能協会劇場)	観客	450名
2月18日(日)	太鼓公演(トバイ日本人学校)	観客	85名
2月21日(水)	太鼓公演(ハレソン大学)	観客	600名
2月22日(木)	太鼓公演(ハレソン・シェラトンホテル)	観客	350名

(7) 日本太鼓全国講習会の実施

日本太鼓全国講習会は、熊本・秋田・栃木の3会場で延べ751名の受講者が参加して実施した。いずれも主管支部や地元関係者の積極的な協力を得て、滞りなく行われた。

① 名称 第8回日本太鼓全国講習会（日本財団助成事業）

期 日 2000年5月27日(土)・28日(日)

会 場 山鹿市総合体育館(熊本県山鹿市)

主 催 財団法人日本太鼓連盟

主 管 全九州太鼓連合、財団法人日本太鼓連盟熊本県支部

後 援 文化庁、山鹿市、山鹿市教育委員会、山鹿市観光協会、
NHK熊本放送局、RKK、KKT、熊本日新聞、

講座の種類・講師・受講者

専門講座	大江戸助六太鼓講座(単式複打法)	小林 正道氏(東京)	29名
	大太鼓講座(単式単打法)	池田美由紀氏(石川)	50名
	笛講座	高野 功氏(兵庫)	18名
基本講座	3級基本講座	渡辺 洋一氏(東京)	13名
	4級基本講座	松枝 明美氏(長野)	57名
	5級基本講座(初心者講座)	古屋 邦夫氏(長野)	113名

受講者総数 280名 内訳 会員(大人150名・子供59名)、一般(大人37名・子供20名)、
一日受講(大人14名)

② 名称 第9回日本太鼓全国講習会（日本財団助成事業）

期 日 2000年11月11日(土)・12日(日)

会 場 仙北町ふれあい文化センター(秋田県仙北町)

主 催 財団法人日本太鼓連盟

主 管 財団法人日本太鼓連盟秋田県支部

後 援 文化庁、秋田県教育委員会、仙北町、仙北町教育委員会、
(社)秋田県芸術文化協会、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、
AAB秋田朝日放送、AKT秋田テレビ、FM秋田、秋田魁新報社

講座の種類・講師・受講者

専門講座	秩父屋台囃子講座(複式複打法)	高野 右吉氏(埼玉)	22名
	八丈太鼓講座(単式複打法)	菊池 修氏(東京)	14名
	締太鼓講座(単式単打法)	鈴木 孝喜氏(秋田)	15名

基本講座	4 級基本講座	松枝 明美氏(長野)	12 名
	5 級基本講座(初心者講座)	古屋 邦夫氏(長野)	77 名
受講者総数	139 名 内訳 会員(大人 68 名・子供 49 名)、一般(大人 22 名)		

- ③名 称 第 10 回日本太鼓全国講習会 (日本財団助成事業)
- 期 日 2001 年 2 月 24 日(土)・25 日(日)
- 会 場 栃木厚生年金休暇センター(栃木県鹿沼市)
- 主 催 財団法人日本太鼓連盟
- 主 管 財団法人日本太鼓連盟栃木県支部
- 後 援 文化庁、栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮市、宇都宮市教育委員会、
鹿沼市、鹿沼市教育委員会、栃木県文化協会、下野新聞社、
とちぎテレビ、NHK 宇都宮放送局

講座の種類・講師・受講者

専門講座	御諏訪太鼓講座(複式単打法)	小口 大八氏(長野)	20 名
	八丈太鼓講座(単式複打法)	菊池 修氏(東京)	15 名
	締太鼓講座(単式単打法)	鈴木 孝喜氏(秋田)	16 名
基本講座	3 級基本講座	松枝 明美氏(長野)	78 名
	4 級基本講座	安江 信寿氏(石川)	48 名
	5 級基本講座(初心者講座)	古屋 邦夫氏(長野)	90 名
受講者総数	267 名 内訳 会員(大人 200 名・子供 57 名)、一般(大人 10 名)、		

(8) 日本太鼓資格認定事業の実施

日本太鼓資格認定事業は、指導員としての資格について認定する「公認指導員」と演奏者としての技術水準の資格について認定する「技術認定員」との 2 つに区分し、それぞれ実施した。

① 公認指導員

2000 年度認定者

講習内検定による昇級候補者 3 名、日本太鼓資格認定規程第 4 条に基づく公認指導員の推薦者 9 名及び秋田県認定員 28 名の切り替えについて運営委員会並びに技術委員会で規定に沿って慎重に審議した結果、下記のとおり認定された。

公認指導員認定者数

- 1 級公認指導員 2 名(石川県・鹿児島県各 1 名)
- 2 級公認指導員 3 名(栃木県 2 名・福島県 1 名)
- 3 級公認指導員 35 名(秋田県 29 名・栃木県 5 名・大分県 1 名)

* この結果、公認指導員の現在数は 229 名となった。(内訳は次のとおり)

特別公認指導員	2 名	1 級公認指導員	22 名
2 級公認指導員	71 名	3 級公認指導員	134 名

公認指導員更新研修会

規定に基づく公認指導員の3年に1度の更新研修会への参加は、参加対象者数186名中141名が出席して更新の手続きを終了した。なお、欠席者45名のうち、23名が更新辞退により資格を喪失した。更新を希望しているものの、事情により参加できなかった22名については、技術委員会並びに運営委員会において検討することになっている。

第1回(2000年 5月・熊本県) 参加35名

(1級公認指導員6名、2級公認指導員19名、3級公認指導員10名)

第2回(2000年11月・秋田県) 参加30名

(1級公認指導員1名、2級公認指導員10名、3級公認指導員19名)

第3回(2001年 2月・栃木県) 参加76名

(1級公認指導員9名、2級公認指導員25名、3級公認指導員45名)

欠席者45名の級別内訳は次のとおりである。

1級公認指導員2名、2級公認指導員15名、3級公認指導員28名

公認指導員講習内検定

本年度の参加者は次のとおりである。

第8回日本太鼓全国講習会(2000年5月27・28日・熊本)

参加 9名(2級公認指導員4名、3級公認指導員1名、

1級技術認定員2名、公認指導員推薦者2名)

第9回日本太鼓全国講習会(2000年11月11・12日・秋田)

参加13名(2級公認指導員3名、

1級技術認定員2名、公認指導員推薦者8名)

第10回日本太鼓全国講習会(2001年2月24・25日・栃木)

参加19名(2級公認指導員3名、3級公認指導員6名、

1級技術認定員4名、公認指導員推薦者6名)

② 技術認定員

検定試験の実施(1級技術検定は実技3回合格、2級技術検定は実技2回合格が必要)

・第9回検定(2000年5月28日・熊本)*全国講習会

検定員 古屋邦夫、松枝明美、小林正道、渡辺洋一

検定結果 167名受験(153名認定)

1級検定 3名受験 3名合格(3名は2回目合格)

2級検定 6名受験 4名合格(4名は初回合格)

3級検定 13名受験 13名合格・認定

4級検定 58名受験 53名合格・認定(5名は次回実技追試)

5級検定 87名受験 87名合格・認定

・第10回検定(2000年6月25日・長野)＊支部講習会

検定員 古屋邦夫、松枝明美、今泉 豊

検定結果 126名受験(全員認定)

4級検定 45名受験 45名合格 ・認定

5級検定 81名受験 81名合格 ・認定

・第11回検定(2000年7月9日・千葉)＊支部講習会

検定員 古屋邦夫、松枝明美、宮崎義政

検定結果 123名受験(全員認定)

4級検定 20名受験 20名合格 ・認定

5級検定 103名受験 103名合格 ・認定

・第12回検定(2000年11月12日・秋田)＊全国講習会

検定員 古屋邦夫、松枝明美、高野右吉、鈴木孝喜

検定結果 108名受験(90名認定)

1級検定 6名受験 1名合格(初回合格)

2級検定 13名受験 4名合格 ・1名認定(3名は初回合格)

4級検定 12名受験 12名合格 ・認定

5級検定 77名受験 77名合格 ・認定

・第13回検定(2000年12月10日・神奈川)＊支部講習会

検定員 古屋邦夫、松枝明美、小林正道

検定結果 151名受験(全員認定)

4級検定 33名受験 33名合格 ・認定

5級検定 118名受験 118名合格 ・認定

・第14回検定(2001年2月25日・栃木)＊全国講習会

検定員 古屋邦夫、松枝明美、鈴木孝喜、安江信寿

検定結果 242名受験(209名認定)

1級検定 10名受験 6名合格 ・1名認定(3名は2回、2名は初回合格)

2級検定 19名受験 11名合格 ・4名認定(7名は初回合格)

3級検定 79名受験 71名合格 ・認定

4級検定 49名受験 48名合格 ・認定

5級検定 85名受験 85名合格 ・認定

2. 一般事業

(1) 広報事業の実施

① 会報の発行

会報を毎号 1,500 部発行し、加盟団体及び各関係先に配布した。

第 10 号(2000 年 4 月号) 第 11 号(2000 年 7 月号)

第 12 号(2000 年 10 月号) 第 13 号(2001 年 1 月号)

② 支部旗の作成

財団の事業に併せて開催支部の旗を作成し、会場内に掲揚、会員の意識高揚に務めた。今年度は、熊本、千葉、秋田、神奈川、栃木の支部旗を作成、これまでに作成した支部を合わせると 34 支部中 15 支部となった。

③ ホームページの開設

ホームページを開設してページ内容の構成、情報入力システムの作成等を行った。

URL:<http://WWW.nippon-taiko.or.jp>

開設後のアクセス数は、海外を含めて 1,500 件であった。

④ テレビ・新聞・雑誌への広報活動

○第 3 回日本太鼓ジュニアコンクールの模様が、NHK や長野放送のニュースとして放映され、信濃毎日新聞、岡谷市民新聞、長野日報で記事として紹介された。

○国際交流事業における太鼓チームの演奏が、各公演国(アメリカ、スペイン、ハンガリー、スロバキア、チェッコ、ウズベキスタン、カザフスタン、スーダン、アラブ首長国連邦、バハレーン)で、テレビや新聞、ラジオ等に幅広く紹介された。

○第 10 回日本太鼓全国講習会の模様がレジャーチャンネル 1・PerfecTV!「情報 360° W I D E」で放映された。

(2) 協力事業の実施

国や地方公共団体並びに関係団体が実施する事業に対し、次のとおり積極的に協力し、日本太鼓の普及に務めた。

① 「競艇名人戦競走」太鼓公演

大阪競艇界のビッグタイトルの一つである競艇名人戦競走に併せて太鼓公演の要請を受け、出演協力を行った。

主 催	大阪都市競艇組合
期 日	2000 年 4 月 18 日～23 日(太鼓公演は 20 日・21 日・23 日の 3 日間)
会 場	住之江競艇場(大阪府大阪市)
出 演	20 日(木) 加賀太鼓保存会(石川)
	21 日(金) 大江戸助六太鼓(東京)
	23 日(日) 掛合太鼓保存会(島根)

② フランス語婦人会 25 周年記念祝賀晩餐会

日仏の友好を目的に活動している同クラブの 25 周年記念会が行われ、ご臨席の高円宮殿下・同妃殿下をはじめ 100 名近い出席者の前で日本太鼓を披露した。

主 催 フランス語婦人会
期 日 2000 年 5 月 19 日（金）
会 場 フランス大使公邸（東京都港区）
出 演 富岳太鼓（静岡）

③ 全大阪王将戦競走

関西競艇界における大レースの一つである全大阪王将戦に併せて太鼓公演の要請を受け、出演協力を行った。

主 催 箕面市
期 日 2000 年 8 月 13 日（日）
会 場 住之江競艇場（大阪府大阪市）
出 演 蘭導（秋田）

④ 全国脊髄損傷者連合会創立 40 周年記念「バリアフリーまつり」

全国脊髄損傷者連合会の 40 周年を記念して行われた事業に太鼓チームの出演協力を行った。

主 催 全国脊髄損傷者連合会創立 40 周年記念イベント実行委員会
期 日 2000 年 10 月 9 日（月・祝）
会 場 パシフィコ横浜 1 F 展示ホール（神奈川県横浜市）
出 演 大江戸助六ろう者太鼓（東京）

⑤ memento mori 静岡 2000

『「死」をみつめ、「今」を生きる』をテーマに日本財団の主催により行われた事業に、太鼓チームの出演協力を行った。

主 催 日本財団
期 日 2000 年 10 月 17 日（火）
会 場 浜名湖競艇場（静岡県浜松市）
出 演 富岳太鼓（静岡）

⑥ 競艇王チャレンジカップ競走

競艇界のビッグタイトルの一つである競艇王チャレンジカップ競走に併せて太鼓公演の要請を受け、出演協力を行った。

主 催 大阪市都市競艇組合
期 日 2000 年 11 月 21 日（火）
会 場 住之江競艇場（大阪府大阪市）
出 演 和奏（鹿児島）

⑦ 2000 神宮外苑ロードレース・東京ふれあいマラソン

知的障害者や身体障害者を含め4,000人が参加する恒例事業で、この大会を後援し、太鼓演奏の出演協力を行った。

主 催 神宮外苑ロードレース実行委員会
(笹川スポーツ財団及び東京新聞等で構成)
期 日 2000 年 12 月 17 日 (日)
会 場 国立競技場(東京都新宿区)
出 演 東柏太鼓(神奈川)、雨鳴太鼓保存会(山梨)

⑧ 第 15 回賞金王決定戦競走

競艇界の 2000 年の最後を飾る賞金王決定戦競走に併せて太鼓公演の要請を受け、出演協力を行った。

主 催 府中市
期 日 2000 年 12 月 21 日(木)～24 日(日)
会 場 平和島競艇場(東京都大田区)
出 演 21 日(木) 助六太鼓(東京)
23 日(金) なまはげ太鼓伝承会(秋田)
24 日(日) 府中国府太鼓(東京)

⑨ 大阪ダービー戦競走

競艇界の 2001 年の年始めを飾る大阪ダービー競走に併せて太鼓公演の要請を受け、出演協力を行った。

主 催 箕面市
期 日 2001 年 1 月 2 日(火)・3 日(水)
会 場 住之江競艇場(大阪府大阪市)
出 演 2 日(火) 天邪鬼(東京)
3 日(水) 福光もちつき太鼓保存会(富山)

⑩国際ロータリー第 2750 地区ローターアクト第 21 回地区年次大会

地域の奉仕活動を行っている同団体の総会出席者に、日本太鼓を紹介したいとの要請を受け、出演協力を行った。

主 催 国際ロータリー第 2750 地区ローターアクト実行委員会
期 日 2001 年 2 月 18 日(日)
会 場 府中の森芸術劇場ふるさとホール(東京都府中市)
出 演 御諏訪太鼓保存会(長野)

(3) 後援事業の実施

財団法人日本太鼓連盟の支部並びに関係団体が、日本太鼓の普及、振興を図るために実施する事業に対し、次のとおり 33 の事業に対し後援を積極的に行った。なお、全事業における参加者総数は約 18,000 名、観客総数は約 305,000 名であった。

- 4月8日(土)・9日(日) 関東一の太鼓祭(千葉県成田市・成田山新勝寺と表参道)
(主催:感動成田劇場実行委員会) 参加者 1,200名・観客数 12,000名
- 5月6日(土) 青の洞門禅海春の太鼓祭り(大分県耶馬溪町・青の洞門前特設ステージ)
(主催:春の太鼓祭り実行委員会) 参加者 56名・観客数 1,876名
- 5月28日(日) 第10回日本太鼓フェスティバル(埼玉県秩父市・秩父ミュージックパーク)
(主催:日本太鼓フェスティバル実行委員会) 参加者 102名・観客数 4,100名
- 6月24日(土) 創作和太鼓駒の会定期演奏会(宮城県小牛田町・小牛田町文化会館)
(主催:創作和太鼓駒の会) 参加者 300名・観客数 800名
- 7月9日(日) 第15回茨城の太鼓(茨城県下館市・下館市民会館)
(主催:(財)日本太鼓連盟茨城県支部) 参加者 245名・観客数 714名
- 7月22日(日) 松任国際太鼓エキスポ2000(石川県松任市・松任総合運動公園)
(主催:松任国際太鼓エキスポ) 参加者 100名・観客数 4,000名
- 7月29日(土) 第15回富士山太鼓祭り(静岡県御殿場市・富士山御殿場口特設会場)
(主催:御殿場わらじ大祭実行委員会) 参加者 300名・観客数 35,000名
- 7月29日(土) 不知火町復興事業「鎮魂と炎と勇気の鼓動」(熊本県・不知火町文化プラザ広場)(主催:復興イベント実行委員会) 参加者 120名・観客数 900名
- 7月30日(日) 第15回霧島高原太鼓まつり(鹿児島県牧園町・霧島国際音楽ホール)
(主催:霧島高原太鼓まつり実行委員会) 参加者 74名・観客数 6,000名
- 8月5日(土) 太鼓の祭典「鼓賑まつり」(熊本県菊池市・ふるさと創生市民広場)
(主催:菊池雲上太鼓保存会) 参加者 125名・観客数 2,000名
- 8月6日(日) 大響祭2000(秋田県鷹巣町・あきた北空港ふれあい緑地野外ステージ)
(主催:大響祭実行委員会) 参加者 325名・観客数 3,000名
- 8月12日(土)～14日(月) 岡谷太鼓祭り2000(長野県岡谷市・カノホール駐車場ほか)
(主催:岡谷市観光協会) 参加者 2,000名・観客数 200,000名
- 9月9日(土)・10日(日) 秋田県太鼓連盟創立15周年記念
(秋田県横手市・秋田ふるさと村ドーム劇場)
(主催:(財)日本太鼓連盟秋田県支部) 参加者 647名・観客数 2,000名
- 9月17日(日) 第4回故郷の鼓動!どんどこ音楽祭2000(福岡県行橋市・行橋市民会館)
(主催:どんどこ音楽祭実行委員会) 参加者 200名・観客数 1,000名
- 9月下旬 全国幼稚園・保育園幼児音体フェスティバル2000(北海道～沖縄まで19会場)
(主催:全日本幼児教育連盟) 参加者 8,945名・観客数 11,464名
- 10月1日(日) ジュニアコンクール京都予選・第1回ジュニア大会(京都府城陽市・城陽文化ホール)
(主催:(財)日本太鼓連盟京都府支部) 参加者 80名・観客数 2,000名
- 10月15日(日) 平成12年度全国太鼓フェスティバル(岩手県・陸前高田市民体育館)
(主催:全国太鼓フェスティバル実行委員会) 参加者 222名・観客数 3,347名
- 10月22日(日) 高萩大和太鼓発足10周年記念演奏会(茨城県高萩市・高萩市文化会館)
(主催:高萩大和太鼓) 参加者 60名・観客数 700名

- 10月29日(日) 第10回島根県太鼓フェスティバル(島根県三刀屋町・町文化体育館)
(主催:(財)日本太鼓連盟島根県支部) 参加者200名・観客数1,000名
- 10月29日(日) 第11回石川の太鼓(石川県穴水町・のとふれあい文化センター)
(主催:社団法人石川県太鼓連盟) 参加者500名・観客数600名
- 11月5日(日) 2000 かながわの太鼓(神奈川県平塚市・平塚市民センター)
(主催:(財)日本太鼓連盟神奈川県支部) 参加者120名・観客数1,000名
- 11月19日(日) 志賀の太鼓〜これでもか! “太鼓”(石川県志賀町・志賀ロイヤルホテル)
(主催:志賀の太鼓連絡協議会) 参加者190名・観客数1,500名
- 11月26日(日) 第3回日本太鼓ジュニアコンクール千葉県大会(千葉県・四街道市文化センター)
(主催:(財)日本太鼓連盟千葉県支部) 参加者200名・観客数300名
- 12月3日(日) 2000 年度日本太鼓ジュニアコンクール釧路大会(北海道・標津町文化ホール)
(主催:(財)日本太鼓連盟釧路支部) 参加者100名・観客数500名
- 1月1日(月) 2001 年新年フェスティバル IN 高下(山梨県増穂町・増穂町高下地区)
(主催:(財)日本太鼓連盟山梨県支部) 参加者150名・観客数1,000名
- 2月3日(土) 第30回全国御諏訪太鼓連合会初響大会(長野県諏訪市・華乃井ホテル)
(主催:御諏訪太鼓連合会) 参加者260名
- 2月11日(日) 第10回ばちの祭典(埼玉県川口市・川口市総合文化センターリリア)
(主催:(財)日本太鼓連盟埼玉県支部) 参加者400名・観客数1,100名
- 2月18日(日) 島根ジュニア太鼓フェスティバル(島根県佐田町・佐田町中央公民館)
(主催:さだ須佐太鼓) 参加者180名・観客数600名
- 3月4日(日) 福井の太鼓(福井県武生市・武生市文化センター)
(主催:(財)日本太鼓連盟福井県支部) 参加者150名・観客数1,200名
- 3月4日(日) 相州海老名東柏太鼓20周年チャリティコンサート(神奈川県・海老名市文化会館)
(主催:相州海老名東柏太鼓) 参加者80名・観客数1,000名
- 3月11日(日) 第2回京都府太鼓フェスティバル(京都府・木津町中央交流会館)
(主催:京都府太鼓連盟) 参加者300名・観客数300名
- 3月17～19日 第7回日本太鼓フェスティバル in 輪島(石川県・輪島市文化会館)
(主催:輪島市観光協会) 参加者85名・観客数3,000名
- 3月11日(日) 心のふる里 千葉の太鼓(千葉県・八千代市民会館)
(主催:(財)日本太鼓連盟千葉県支部) 参加者150名・観客数550名

(4) 調査研究事業の実施

日本太鼓に関する文献・資料の収集、日本太鼓並びに伝統芸能等の事業を視察し研究するなど調査研究事業を積極的に行った。

また、懸案事項となっていた「日本太鼓教本」を技術委員会の協力を得て改訂した。